

ハーバード便り

(第 1 号 ・ 2004 年 4 月 26 日)

立正大学法学部の皆さん、お元気ですか？政治学原論担当の早川誠です。私は今年 1 年間大学から在外研修の期間をいただき、講義を中田喜万先生にお願いして、アメリカで研究を進めています。この「ハーバード便り」では、アメリカでの生活や研究の様子を毎月（できれば半月ごとくらいで・・・）皆さんに伝えていきたいと思っています。お楽しみに！

1 . ポストン、チャールズ川、ケンブリッジ

さて、まずは研修場所からご紹介しましょう。私が在外研修を行っているのは、アメリカ合衆国の東海岸、マサチューセッツ州ポストン近郊にあるハーバード大学 Harvard University です。ポストンは、野球のポストン・レッドソックスの地元、テレビドラマの「アリー・マイ・ラブ」の舞台、というとわかりやすいでしょうか。ただ、実はハーバード大学はポストン市にはありません。ポストンから川向こうのケンブリッジ市に位置しています。



チャールズ川をはさみ、

がケンブリッジで、 がポストン。

両岸を結ぶ橋の上を

地下鉄レッド・ラインが走ります。

川沿いには遊歩道があり、

お天気の良い日には多くの人が

ジョギングやウォーキングを楽しみます。

ヨットやカヌーも出ているんですよ。

2 . ハーバード大学



ケンブリッジに位置するハーバード大学は、アメリカ最古の大学の一つで、数々の有能な研究者が集う学問の殿堂です。政治学原論で扱っていた J.ロールズや R.ノージックもハーバードの教員でした。また、F.D.ルーズベルトや J.F.ケネディといった優れた大統領を輩出したことで

も知られています。正門は意外とこぢんまりしていますが、積み重ねられた歴史の重さを感じさせてくれます。

法学部・大学院に関連する組織としては、ハーバード・ロー・スクール（法律の大学院）やケネディ・スクール・オブ・ガバメント（政治や行政の大学院）が著名です。これらに所属する教員の中には、大統領側近としてアメリカ政治や国際政治の舞台で活躍する有名人もたくさんいます。

ハーバード大学へのアクセスは、地下鉄レッド・ラインのハーバード・スクエア駅が便利です。ハーバード・スクエアには、大学生協もあって、専門書やハーバードのロゴ入りグッズを買うこともできます。

ハーバード・スクエアの様子。赤い標識が地下鉄入り口。右後方に見える三角屋根の飾りがあるのが生協の書籍部です。



それでは、次回は大学キャンパスの様子をご紹介します予定です！

（ハーバード大学客員研究員 早川誠：mhykw@ris.ac.jp）